

てい先生と考える交通安全対策～「ゾーン30プラス」で生活道路を安全・安心に～ トークセッション 開催概要(令和6年2月17日)

開催概要

- 日時：令和6年2月17日（土）14:00～14:30
- 会場：イオンレイクタウンmori 木の広場（埼玉県越谷市）
- 主催：国土交通省・警察庁
- 出演者：てい先生（保育士）、小嶋 文（埼玉大学准教授）
- 参加者：約120名

「ゾーン30プラス」などの生活道路における交通安全対策について、テレビ出演・講演活動など幅広く活躍している「てい先生」をゲストにお招きし、トークセッションを開催しました。



てい先生（保育士）

- ★運転手側にマナーやルールを求めるのには限界があるので、「ゾーン30プラス」をはじめ、よりよい交通安全対策がもっとできていくと良い。
- ★子育てでは今より少し先の成長段階も考え、危険時に止まることを“遊びをしながら教える”等、前もった対策で、交通事故の回避や、子育ての悩みも解消されやすくなると思います。



小嶋文氏（埼玉大学准教授）

- ★交通事故の生存は時速30kmが境目。
- ★「ゾーン30プラス」により生活道路で時速30kmを超過した車が減少するなど効果あり。
- ★家の周りで危険を感じたら、自治体などの道路管理者に対し、「ゾーン30プラス」の取組などの必要性を、皆さんで働きかけていただきたいです。



小嶋准教授に紹介いただいた「ゾーン30プラス」の内容に対して、質問をなげかけるてい先生。



会場の皆様に向けて、てい先生から交通安全さらには子育てに関するアドバイスもいただきました。

可搬式ハンブも展示しました！

(同時開催)「ゾーン30プラス」パネル展



日時：令和6年2月16日（金）～2月17日（土）

